

プロジェクト報告書

団体名 楽農倶楽部

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

多摩市団地住民の野菜づくりをととした2050年の大人づくり事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

多摩市の故郷意識と生産性の低さをバネに、多摩の資源は人と捉え2050年の大人づくりが求められています(多摩市教育委員会)。そこで「新しい公共と風土づくり」が課題となり、その切り口として「生ごみ資源化によるいのちの循環」を命題に、中学生を主体とし、その保護者を受け皿とした地域風土づくりpjを「生ごみ資源化pjイン落合中」とする新事業を始動しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

野菜づくり・販売事業:種苗から美味しい野菜を生産し、団地販売を実施しました。

教育事業(ESD):地区小中6校で緑のカーテンpj並びにユネスコスクールESD教育に参画しました。

環境事業:多摩市と連携し、生ゴミリサイクルサポーターとして、地区講演や生ゴミ及び落ち葉の堆肥化活動を行ないました。

2013年は、上記活動の集大成として、「生ごみ資源化pjイン落合中」を始動しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・野菜づくり・販売事業では、初春の播種から、育苗は温室の温度管理のため発泡スチロールを使用。地域商店との連携に成功し、野菜の定期販売ができました。

・「緑のカーテンpj」は4年目となり、先輩小学生が紙芝居などで後輩を指導し伝統づくりの萌芽になりました。

・「生ごみ資源化pjイン落合中」では生徒会が試行錯誤しながら毎週金曜日の授業前の生ごみ作業を実施し、命の循環と環境問題に取り組みました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

地域コミュニティづくりを標榜するなかで、野菜づくりからその販売をととした商店・福祉カフェ、また青少年問題協議会や教育委員会との緑のカーテンpj2013やESD全国大会での講演など地域・学校・行政の連携が一步步つ広がり2050年の大人づくりに参加できました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・**特になし**